

## ○ 平成18年度実施事業概要及び平成19年度事業計画

### I 平成18年度実施事業概要

#### 1 平成18年度に実施した主な公益（自主）事業は、次のとおりです。

##### (1) 公益（自主）事業（一般）

###### イ 船積有害貨物の安全対策に関する調査研究

船積危険品各個品及び性状の調査、積付方法、応急処置等に関する資料作成、既存資料の見直し、整理、法改正による資料の訂正等調査研究を行い、成果物を会報に掲載しました。

###### ロ 津波被害減災に関する基本的事項の調査研究

大阪港及び堺泉北港に関し、津波による在港船にかかる外力等の算出法を整理検討し、想定した影響と対応法等基礎的事項を調査研究し、津波対策を策定しました。

###### ハ インターネットホームページのコンテンツの充実強化

調査研究資料等のデータベース化を推進するとともに、インターネットによりその成果物の一部を公表し活用を図りました。

##### 二 海難防止強調運動の実施

全国海難防止強調運動及び近畿・四国地方における海難防止運動等推進方法を企画、策定し、また各団体の実施状況を整理し、今後の推進方法の改善対策等を検討するとともに官民あげて実効ある活動を展開しました。

##### (2) 公益（自主）事業（警戒船等に対する講習）

###### イ 警戒船講習会

海上工事周辺海域の警戒業務に従事する船舶の乗組員及び警戒事業者等対象に警戒船業務等の講習会を開催しました。

###### ロ 進路警戒船等船長講習会

進路警戒船等の指定を受けた船舶の船長を対象に進路警戒船業務にかかる講習会を開催しました。

##### (3) 公益（自主）事業（国際VHF海岸局の運営）

紀伊水道から大阪湾を経て明石海峡を經由し、瀬戸内海を航行する内外航船舶の安全を図り、海難の発生を予防し、船舶運航能率の向上並びに各港湾に入出港する船舶の航行安全のために、国際VHF海岸局の運営（委託）をしました。

## 2 平成18年度に実施した主な受託事業は、次のとおりです。

### (1) 海難防止、航行安全対策等の調査研究

#### イ 大阪港港湾計画における航行安全性検討調査

大阪港港湾計画改訂に関し、海難防止上、運行操船面からの安全性について調査検討しました。

#### ロ 大阪港夢洲トンネル工事に伴う船舶航行安全対策調査

大阪港夢洲～咲洲を結ぶ夢洲トンネル工事実施に伴う船舶航行安全対策等を調査検討しました。

#### ハ 堺泉北港・阪南港船舶津波対策検討業務

堺泉北港及び阪南港において東南海・南海地震により生じる地震津波が来襲した場合、係留中の船舶への影響を把握し、船体移動量、繫留索張力等について簡便かつある一定の精度が得られる検討手法を確立するための検討資料を作成しました。

#### ニ コンテナ船「マースクPS船」神戸港入港航行安全対策調査

神戸港に入港する最大船型であるコンテナ船のビジュアル式操船シミュレータ実験による着離岸、岸壁全面の回頭等の安全性を検討し航行安全対策を策定しました。

#### ホ 船舶交通流等検討業務

大阪湾諸港の一開港化による船舶交通流の変化に伴い、航行安全対策を調査検討しました。

#### ヘ 港湾区域内を横断する幹線道路による船舶航行安全対策調査

神戸港の港湾区域内を横断する幹線道路（大阪湾岸道路西伸部）により生じる影響及び船舶航行の安全対策を検討し策定しました。

#### ト 平成18年度広域幹線道路船舶航行安全対策調査

大阪湾岸道路西伸部（六甲アイランド～駒ヶ林南）に計画されている橋梁と航路・進入水路との交差箇所において、船舶の航行安全対策を策定しました。

#### チ 大阪湾諸港の包括連携施策に伴う航行安全対策検討業務

大阪湾諸港の包括連携施策に伴う船舶交通流の変化及び影響を調査し、船舶の航行安全対策を調査検討しました。

#### リ 平成18年度関西国際空港航空灯火影響検討業務

関西国際空港島2期滑走路が供用された場合、2期空港島の進入灯、滑走路灯等の航空灯火が付近航行船舶に及ぼす影響を調査し、航行船舶の安全対策を検討しました。

ヌ **神戸港ポートアイランド（第2期）地区岸壁（－16m）船舶航行安全対策検討業務**

神戸港ポートアイランド（第2期）地区岸壁（－16m）築造工事に伴う船舶航行に対する安全対策を策定しました。

ル **大阪港新島建設等に伴う工事中航行安全対策検討業務**

大阪港新島建設等に伴う工事期間中の航行船舶の安全対策及び主航路維持浚渫に伴う船舶の航行安全対策を調査検討しました。

オ **地震津波による係留船舶への影響評価に関する調査業務**

近い将来予想される「東南海・南海地震」による地震津波発生時において、港湾施設の被害を最小限に抑え、大阪港内の船舶の安全を確保するため係留船舶に対する津波の影響について調査検討しました。

ワ **平成18年度神戸空港航行船舶安全調査**

空港供用開始後の制限表面下船舶航行実態報告及び航行安全対策のフォローアップについて、航行安全の見地から調査検討しました。

カ **大阪港航行安全対策委員会**

大阪港の航行安全の懸案事項の中から、夢洲東方海域、港大橋奥部及び南港に関する航行安全対策について調査検討しました。

**(2) 航行安全情報管理業務**

イ **神戸沖埋立処分場航行安全情報管理業務**

神戸港第6区水域内における神戸沖埋立処分場へ入出港する廃棄物輸送船及び工事作業船並びに一般船舶の情報を収集し、関係者に提供するとともに、作業区域及びその周辺海域を監視し、作業船等に対する指導等の航行安全情報管理業務を実施しました。

ロ **大阪港航行安全情報提供業務**

大阪港新島建設工事に係る入出港船舶、工事作業等の情報を収集し、関係者に提供するとともに、工事海域付近の監視及び警戒船に対する指導等の航行安全情報管理業務を実施しました。

ハ **関西国際空港航行安全情報管理業務**

関西国際空港2期工事に係る入出港船舶、工事作業等の情報を収集し、関係者に提供するとともに、工事海域付近の監視及び工事作業船に対する指導等の航行安全情報管理業務を実施しました。

## Ⅱ 平成19年度事業計画

平成19年度の事業計画は、次のとおりです。

- (1) 公益事業としては、警戒船等に対する講習を引き続き行うほか、次の事業を行います。
  - イ 船積有害貨物の安全対策に関する調査研究
  - ロ 船舶の係留索張力の実船による実証実験調査研究
  - ハ 港内津波対応方策の調査検討
  - ニ 海難防止強調運動の実施
  - ホ 業務運営等に関する定例会議の開催
  - ヘ 会報の刊行、ホームページ、データベースの充実
- (2) 受託事業としては、大阪港航行安全対策調査業務及び神戸、大阪、関空航行安全情報管理業務を継続して行うほか、委託によりそれぞれの調査事業を行います。